JR東日本ニュース

Switch! SUSTAINABLE TRAIN

2025 年 6 月 9 日
東日本旅客鉄道株式会社

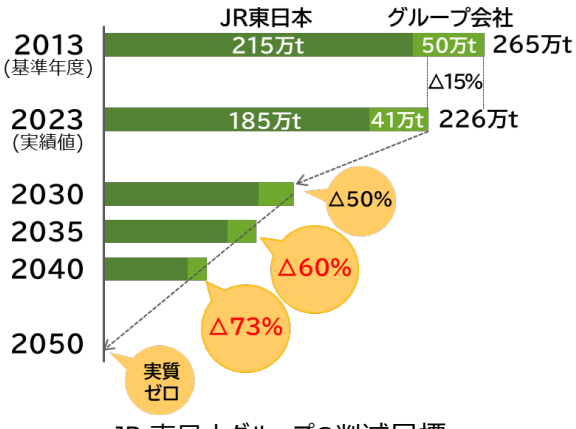
JR 東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」達成に向けた新たな目標設定について

○JR 東日本グループは、将来にわたり環境優位性を向上し、社会に新たな価値を創造する企業グループであり続けるために、2030 年度までに 2013 年度比で CO_2 排出量を 50%削減し、2050 年度までに「実質ゼロ」を達成することを長期目標としています。
○今回新たに 2035 年度、2040 年度の削減目標を 2013 年度比でそれぞれ 60%削減、73%削減とします。中間目標を設定し、達成に向けた取り組みを着実に進めることで、2050 年度実質ゼロの実現可能性を高め、脱炭素社会実現に貢献します。
○2030 年度のカーボンハーフおよび今回新たに設定した削減目標の達成とサステナブルな社会の実現を目指し、グループの総力を挙げてチャレンジしていきます。

環境目標「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」の新たな目標設定

JR 東日本グループは、将来にわたり環境優位性を向上し、社会に新たな価値を創造する企業グループであり続けるために、2030 年度までに 2013 年度比で CO_2 排出量を 50%削減し、2050 年度までに「実質ゼロ」を達成することを長期目標とし、これまでも太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーの開発、新型車両導入等による省エネ化、自営火力発電所の効率化などの取り組みを推進してきました。

今回、国が新たに定めた次期削減目標（NDC）に基づき、当社グループとしても新たに 2035 年度、2040 年度までの CO_2 排出量削減目標を 2013 年度比でそれぞれ 60%削減、73%削減とします。中間目標を設定し、達成に向けた取り組みを着実に進めることで、2050 年度実質ゼロの実現可能性を高めていきます。引き続き、エネルギーを「つくる」から「使う」までのすべてのフェーズで CO_2 排出量「実質ゼロ」に向けたさらなる取り組みを行います。



JR 東日本グループの削減目標

SBT※については、2023 年 8 月にコミットメントを宣言し、具体的な削減目標を検討してきました。SBT の取得にはサプライヤーの排出量（スコープ 3）も対象となります。この間の詳細な調査により当社グループの事業にかかわるサプライヤーは非常に広範囲に及ぶことが判明したことから、国のエネルギー政策全般の状況も勘案し、申請を見合わせることとしました。2030 年度のカーボンハーフおよび新たに設定した削減目標を確実に達成するとともに、2050 年度までの「実質ゼロ」の実現に向けて「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」にグループの総力を挙げて取り組んでいきます。

※ SBT：パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標であり、5 年～10 年先の目標を設定します

参考：JR 東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」達成に向けた取り組みについて
・2030 年度までの JR 東日本グループ全体の CO_2排出量削減目標を 2013 年度比 50%削減とし、目標達成に向けた取り組みを通じ、脱炭素社会実現に貢献します。
(URL) https://www.jreast.co.jp/press/2021/20220208_ho02.pdf